

上部消化管内視鏡検査のご案内

当クリニックでは、最新式電子スコープを用いた胃内視鏡検査を“無痛”で行なっております。

当クリニックでは、ほぼ全員の患者様に対して無痛性・安全性・検査精度を考慮した胃内視鏡検査を行っております。

具体的には、全員にリンゲル液の点滴を行いながら（安全性）、検査開始前に抗不安剤を静脈注射（無痛性）することで、食道・胃・十二指腸の詳細な観察が可能になります（高精度）。検査終了時に抗不安剤の拮抗剤を注射いたしますので検査中の苦痛・記憶は全くなく、熟睡状態からほぼ完全に目がさめます。

なお、検査後短時間での帰宅も可能ですが、検査終了後3時間くらいはふらつき感などが残るため、運転・激しい運動・無理なお仕事は控えてください。

前回の胃カメラがとてつらかった方、胃カメラに恐怖心をお持ちの患者様は受付までご相談ください。

岡部クリニック
院長 岡部 聡